令和８年度

壬生町下水道事業会計補正予算
（第１号）

栃木県下都賀郡壬生町

令和８年度壬生町下水道事業会計補正予算（第１号）

（総　則）

第１条　令和８年度壬生町下水道事業会計の補正予算（第１号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量の補正）

第２条　令和８年度壬生町下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第２条に定めた業務の予定量を次のとおり改める。

（項　　目）	（既決予定量）	（補正予定量）	（計）
支　　出			
(4)　主な建設改良工事			
公共下水道汚水管渠建設事業	57,053千円	3,000千円	60,053千円
公共下水道処理場建設事業	299,000千円	18,843千円	317,843千円
雨水施設建設事業	103,800千円	15,000千円	118,800千円

（収益的収入及び支出の補正）

第３条　予算第３条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

（科　　目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
第１款　下水道事業費用	1,775,550千円	2,002千円	1,777,552千円
第１項　営業費用	1,677,733千円	△3,196千円	1,674,537千円
第２項　営業外費用	94,074千円	5,198千円	99,272千円

（資本的収入及び支出の補正）

第４条　予算第４条本文括弧書を「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額５２５，５７２千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額３８，１１４千円、当年度分損益勘定留保資金２３０，４４７千円、減債積立金６０，０００千円、当年度利益剰余金処分額１９７，０１１千円で補てんするものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科　　目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収　　入			
第１款　資本的収入	524,662千円	35,100千円	559,762千円
第１項　企業債	379,700千円	35,100千円	414,800千円
支　　出			
第１款　資本的支出	1,051,797千円	33,537千円	1,085,334千円
第１項　建設改良費	535,366千円	36,843千円	572,209千円
第２項　企業債償還金	515,631千円	△3,306千円	512,325千円

（企業債の補正）

第５条　予算第５条に定めた起債の限度額を次のように改める。

（起債の目的）	（既決限度額）	（補正限度額）	（計）
公共下水道事業	340,100千円	35,100千円	375,200千円

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正）
第６条　予算第８条に定めた経費の金額を次のように改める。

（科　　目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
（１）職員給与費	91,463千円	△3,196千円	88,267千円

（利益剰余金の処分の補正）
第７条　予算第１０条を次のように改める。
　当年度利益剰余金のうち１９７，０１１千円は、次のとおり処分するものと定める。

（１）資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん　１９７，０１１千円

令和８年９月２日提出

壬生町長　小　菅　一　弥

下水道事業会計補正予算に関する説明書

令和８年度壬生町下水道事業会計補正予算実施計画

令和８年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

令和８年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

注記表

令和８年度壬生町下水道事業会計補正予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出

支　　出　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備　　考
1 下水道事業費用			1,775,550	2,002	1,777,552	
	1 営業費用		1,677,733	△3,196	1,674,537	
		3 処理場費	480,940	△3,527	477,413	
		4 水質規制費	7,341	△516	6,825	
		5 総係費	223,143	847	223,990	
	2 営業外費用		94,074	5,198	99,272	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	90,661	5,198	95,859	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収　　入　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備　　考
1 資本的収入			524,662	35,100	559,762	
	1 企業債		379,700	35,100	414,800	
		1 企業債	379,700	35,100	414,800	

支　　出　　（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備　　考
1 資本的支出			1,051,797	33,537	1,085,334	
	1 建設改良費		535,366	36,843	572,209	
		1 公共下水道事業費	469,853	36,843	506,696	
	2 企業債償還金		515,631	△3,306	512,325	
		1 企業債償還金	515,631	△3,306	512,325	

令和８年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

（令和 8年 4月 1日から令和 9年 3月31日まで）

（単位：円）

１．業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	199,010,397
減価償却費	776,574,457
固定資産除却費	32,273,409
賞与等引当金の増減額（△は減少）	676,480
貸倒引当金の増減額（△は減少）	813,586
長期前受金戻入額	△ 462,198,946
受取利息及び受取配当金	△ 780,180
支払利息	95,858,582
有形固定資産売却損益（△は益）	62,165
未収金の増減額（△は増加）	△ 80,950,260
未払金の増減額（△は減少）	△ 8,393,820
その他流動資産の増減額（△は増加）	1,460
小計	552,947,330
利息及び配当金の受取額	780,180
利息の支払額	△ 95,858,582
業務活動によるキャッシュ・フロー	457,868,928
２．投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,379,951,044
有形固定資産の売却による収入	33,425
無形固定資産の取得による支出	△ 36,905,253
国庫補助金等による収入	542,367,173
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	27,906,041
受益者負担金及び受益者分担金による収入	8,398,474
工事負担金による収入	2,488,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 835,663,002
３．財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	893,200,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 512,324,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	380,875,529
資金増加額（又は減少額）	3,081,455
資金期首残高	278,820,812
資金期末残高	281,902,267

令和８年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

（令和 9年 3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部

1　固定資産				
（1）有形固定資産				
イ　土地		508,534,359		
ロ　建物	970,184,741			
減価償却累計額	△445,042,268	525,142,473		
ハ　構築物	35,475,475,026			
減価償却累計額	△16,328,342,263	19,147,132,763		
ニ　機械及び装置	6,188,571,883			
減価償却累計額	△4,477,284,481	1,711,287,402		
ホ　車両運搬具	2,713,917			
減価償却累計額	△2,578,220	135,697		
ヘ　工具、器具及び備品	27,441,439			
減価償却累計額	△26,069,358	1,372,081		
ト　建設仮勘定		2,191,067,018		
有形固定資産合計			24,084,671,793	
（2）無形固定資産				
イ　施設利用権		426,755,801		
無形固定資産合計			426,755,801	
固定資産合計				24,511,427,594
2　流動資産				
（1）現金預金			281,902,267	
（2）未収金		210,611,230		
貸倒引当金		△6,946,810	203,664,420	
流動資産合計				485,566,687
資産合計				24,996,994,281

負　債　の　部

3　固定負債			
（1）企業債			
イ　建設改良費等に充てるための企業債	6,726,045,868		
企業債合計		6,726,045,868	
固定負債合計			6,726,045,868
4　流動負債			
（1）企業債			
イ　建設改良費等に充てるための企業債	501,930,449		
企業債合計		501,930,449	
（2）未払金		124,254,049	
（3）引当金			
イ　賞与等引当金	6,792,899		
引当金合計		6,792,899	
（4）その他流動負債		2,122,874	
流動負債合計			635,100,271
5　繰延収益			
（1）長期前受金		23,957,513,582	
（2）収益化累計額		△11,908,937,111	
繰延収益合計			12,048,576,471
負債合計			19,409,722,610

資　本　の　部

6　資本金			4,690,558,953
7　剰余金			
（1）資本剰余金			
イ　補助金	216,494,944		
ロ　受贈財産評価額	79,025,008		
ハ　負担金	1,989,732		
資本剰余金合計		297,509,684	
（2）利益剰余金			
イ　減債積立金	22,592,254		
ロ　当年度未処分利益剰余金	576,610,780		
利益剰余金合計		599,203,034	
剰余金合計			896,712,718
資本合計			5,587,271,671
負債資本合計			24,996,994,281

注　記　表

1　重要な会計方針に係る事項

⑴ 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

建物	8～50年
構築物	35～50年
機械及び装置	6～30年
車両運搬具	4～5年
工具、器具及び備品	4～20年

イ 無形固定資産

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

施設利用権	45年

⑵ 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

退職手当の支給については、栃木県市町村総合事務組合で共同処理しており、下水道事業からも定期的な負担金を拠出している。また、それ以外の追加費用については、発生の見込みがないため、退職給付引当金は計上していない。

イ 賞与等引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（１２月から３月までの４か月分）を計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実積率等による回収不能見込額を計上している。

⑶ 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2　予定貸借対照表等関連

⑴ 引当金の取崩し

ア 賞与等引当金の取崩し

令和８年度において、期末手当、勤勉手当及びそれらに係る法定福利費として２１，１５２千円を支給するため、賞与等引当金５，９８５千円を取り崩す予定である。

イ 貸倒引当金の取崩し

令和８年度において、債権の不納欠損による損失に対し、貸倒引当金１，２９８

千円を取り崩す予定である。

3　セグメント情報

⑴ 報告セグメントの概要

下水道事業会計は、公共下水道事業及び農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、これらの２つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	主に市街地における、し尿・生活雑排水等の処理及び雨水排除
農業集落排水事業	農業集落における、し尿・生活雑排水等の処理

⑵ 報告セグメントごとの営業収益等

令和8年度（令和8年4月1日から令和9年3月31日）

（単位：千円）

	公共下水道事業	農業集落排水事業	合　　計
営業収益	617,470	68,920	686,390
営業費用	1,254,627	348,532	1,603,159
営業損益	△ 637,157	△ 279,611	△ 916,768
経常損益	99,157	101,442	200,599
セグメント資産	17,489,638	7,507,356	24,996,994
セグメント負債	13,708,460	5,701,263	19,409,723
その他の項目			
他会計繰入金	506,672	284,777	791,449
減価償却費	545,440	231,134	776,574
特別利益	0	0	0
特別損失	1,515	74	1,589
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,395,085	21,771	1,416,856